

模範の技術、5社に荣誉

公共測量優秀賞で道地区表彰式 日 測 協

日本測量協会(矢口彰会長)は25日、札幌東急REIホテルで2019年公共測量品質管理優秀賞の北海道地区表彰式を開いた。基準点測量部門でHRS(小樽)と技研測量設計(深川)、極東コンサルタント(札幌)の3社、地図作成部門でシ



秀な企業を顕彰している。ことしの第15回表彰は2018年度検定分が対象で全国35社が受賞した。

大塚義則日測協北海道支部技術センター長は「正確な測量を実施し、全ての工程で十分な品質管理をしている。今後も技術の研さんと品質確保の向上に努め、地理基盤情報の整備に貢献してほしい」と、さらなる技術の向上を呼び掛けた。

7年ぶり2回目の受賞となったHRSの鈴木貴文社長は「若い人への技術の伝達、向上を目指していく」と抱負を述べた。3年ぶり2回目の技研測量設計の筒井寛幸専務は「社員が日々努力を積み重ねた結果」と社員の頑張りに感謝した。初受賞だった極東コンサルタントの上原正嗣社長は「これから切砥琢磨(せっさたくま)して地域に貢献していきたい」と将来

を見据えた。

9年ぶり2回目のシン技術コンサルの志村一夫社長は「近年の災害で気がめいることもあったが受賞を励みに新たな技術

管理を進めたい」と喜んだ。北海航測は2年ぶり4回目。矢橋潤一郎社長は「品質管理をますます頑張っていきたい」と意気込みを語った。

盾を手に喜びをあらわにする受賞者ら

2019年(令和元年) 6月26日 【水曜日】 (3)

日測協「公共測量品質管理優秀賞」

道内5社の成果たたえる

基準点、地図作成部門で栄冠

日本測量協会の第15回「道内5社に対する表彰式が「公共測量品質管理優秀賞」に輝いた北海航測㈱(札幌)、矢橋潤(一郎社長)など、量成果を納めた各社を顕彰した。



した。

「優秀賞」に輝いたのは、基準点部門で、HRS㈱(小樽、鈴木貴文社長、7年ぶり2回目)、技研測量設計㈱(深川、筒井幸雄社長、3年ぶり2回目)、㈱極

表彰盾を手に記念撮影する受賞各社の代表ら

東コンサルタント(札幌、上原正嗣社長)の3社。地図作成部門では㈱シン技術コンサル(札幌、志村一夫社長、9年ぶり2回目)、北海航測㈱(2年ぶり4回目)の2社が栄誉を手にした。

5社は2018年度実施の国や道、市町村等発注の基準点測量や地図作成で高い評価を得た。全国では北海道を含め35社が受賞した。

表彰式では、同協会北海道支部の大塚義則技術センター長が、受賞各社に表彰盾と副賞を贈り、優れた品質管理技術をたたえた。

大塚センター長は「公共測量は各種公共事業に先行して実施され、その成果は

後続のインフラ整備の品質に直結する」と、その重要性を強調。各社の成果品の精度や優れた工程管理をたたえ「今後も測量技術の研究と品質の向上に努め、社会基盤に欠かせない地理空間情報の整備に貢献を」と一層の活躍を期待した。

この表彰は、品確法施行を契機に05年度に創設。一定基準を満たす年間3物件以上の検定を同協会で受け、品質管理が特に優秀な測量会社を表彰している。

18年度は道内で基準点測量で222社、地図作成で83社が受検し、基準点測量40社、地図作成6社が実績基準を満たし選考対象に。地図部門は全国の26%に及んだ。